

(別紙4(2))

事業所名:グループホーム 福治の里

## 目標達成計画

作成日:平成 29年 11月 20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	近隣施設の行事などには、積極的に参加しているが、外出の難しい入居者は触れ合う機会が少ない現状がある。	近隣施設の行事に参加しながら、少人数の行事を増やし外出の難しい入居者も参加でき、地域住民と交流できる機会を作る。	法人内外施設からも年間行事に参加してもらえるように案内をしながら、受け入れ態勢、交流できる機会を整える。 少人数の短時間外出の実施回数を増やす。外出が難しい入居者も交流機会が持てるように計画し実施していく。	12ヶ月
2	13	職員一人ひとりの力量と実践状況を把握し、研修等を行い職員の介護力の差を少なくする。	法人内外の研修を通じて職員一人ひとりのスキルアップを図る	施設内で行う勉強会は、積極的にデモンストレーションを取り入れ実践に役立つ内容にする。 法人外研修に参加後は、伝達研修を行い職員に伝え情報を共有する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。